



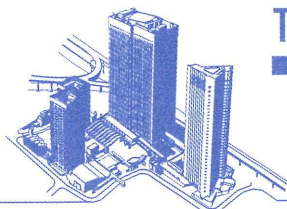
Rotary International

SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.872 / 2005.07.15

例会日 / 毎週金曜日 12:30

例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel / 03-3505-5976

Fax / 03-3505-6004

E-mail / new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

Weekly Report

東京新南ロータリークラブ週報 「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ / 小杉修造会長

●本日の例会 / 2005年7月15日第893回例会

卓話

「朝鮮半島情報と日本の防衛」

防衛庁防衛研究所 武貞秀士氏
主任研究官兼図書館長

(紹介者 庄司会員)

●先週報告 / 7月8日第892回例会

会長報告: ①2004～2005年度地区仲田ガバナーより「合同プロジェクト功労賞」を受賞致しました。地区17クラブ合同による日比友好援助プロジェクトの成果が表彰されました。

②当クラブ定款・細則をお配りしました。細則は大幅に改正され、会員増強、広報、クラブ管理運営、奉仕プロジェクト、R財団委員会の五委員会を設け、それぞれ小委員会を置くように推奨されております。

幹事報告: ①上期会費と忘年家族会会員会費(出欠に拘わらず)を請求させて頂きます。また「全日本ロータリー会員名簿」「ロータリー手帳」を申し込まれた方には、その代金を併せて請求させて頂きました。よろしくお願い申し上げます。

②第2回クラブ協議会開催のご案内

7月22日(金)例会後(13:10～14:30)開催致します。今回は当クラブの重要な課題であります「会員増強について」をテーマと致しました。全会員のご出席をお願い致します。

③上期の主なクラブ行事は次の通りです。

9月16日(金)

ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会

10月20日(木)

ガバナー公式訪問 東京南・東京新南合同例会
(例会場 / 東京會館)

12月1日(木) 忘年家族会

(例会場 / 芝白金・都ホテル)

12月9日(金) 年次総会(次年度理事・役員選挙)

※詳細は本日お配りした「2005～2006年度行事計画」をご参照下さい。

親睦委員会報告: (西澤民夫委員長)

新年度最初の「全員参加型、暑気払いの会」を実施いたします。うとうしい梅雨も明けるであろう7月後半、

当例会場の全日空ホテル内のビアガーデンで、暑さを吹き飛ばす恒例行事です。みなさまお誘い合わせの上奮ってご参加ください。ゲストも大歓迎です。

日時: 7月25日(月) 18:30～20:30

会場: 全日空ホテル4階ガーデンプール横

「ビーチボーイズ・ビアガーデン」

会費: 6,000円

慶事披露: お誕生日祝 / 岩上義明君(7月9日)、
西澤正雄君・大日方真君(以上7月12日)



出席報告: 会員52名 / 出席31名・欠席19名(出席規定免除者5名)
ビジター 2名



7月8日 / 11件21,000円 / 本年度累計83,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤正雄 / お誕生日祝いありがとうございました。馬齢をかさねておりますがロータリーのおかげで元気です。**大日方真** / 68歳になります。益々元気です。あさっては北軽井沢マラソン走ってきます。**入沢頼二** / 今年は小杉丸に乗ってゆっくり船旅を楽しみたいと思います。**庄司泰典** / これから暑くなります、健康に留意しましょう。**西澤民夫** / 暑気払いに是非ご参加ください。岩上さんご苦勞様です。**荒木昭文** / 7月25日暑気払い美女が多数参加されるとのことなので出席します。**石井謙次** / 先週の会長、副会長、幹事のごあいさつ聴けませんでした、ゴメンナサイ。**竹本孝三郎** / 梅雨の中休み、37階での例会気分爽快ですね、岩上さんご苦勞様です。**Consigny** / Australia next week 来週はオーストラリアへ参ります。よろしくお願い致します。**尾上寛** / 岩上さん女性会員期待しています。**岩上義明** / お誕生日祝いありがとうございました。明日9日で53歳になります。

●次週予告 / 7月22日第894回例会

◎第2回クラブ協議会

「会員増強について」

(例会後 13:10～14:30)

日 時 2005年7月8日(金) 例会後13:40～15:00
 場 所 東京全日空ホテル 37F シリウス
 出席者 小杉、入沢、村山、西澤(民)、土屋、吉岡、小原、福島、
 高須(2004～2005年度会計) (敬称略・順不同)
 報告事項 1. 2004～2005年度決算報告
 決議事項

1. 2005～2006年度委員会構成を承認。
2. 2005～2006年度予算案を承認。
3. 2005～2006年度行事計画を承認。
4. 第2回クラブ協議会(7/22)の次第を承認。
5. ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会(9/16)のテーマを「例会の充実」とすることを承認。
6. 各委員会活動計画を次の通り承認。
 - ①SAA / 7～9月例会着席方法(お誕生日順)
 - ②プログラム委員会 / 7～12月卓話予定
 - ③会員増強委員会 / 「クラブ案内とお誘い」英文パンフレット制作
 - ④親睦活動委員会 / 納涼会開催(7/25)の件
火曜会出席をメークアップ扱いとする件(8・9・11・2月)
 - ⑤国際奉仕委員会 / 米山普通寄付 会員一人年間4,500円(前年通り)
7. 忘年家族会会員会費を25,000円とし、上期会費と併せて請求することを承認。
8. 職業分類変更の件 / 西澤正雄君
(新事業所)常興システム(株)顧問
(大分類)建設業、(中分類)設備工事業 に、(小分類)設備保守管理を新規オープンして充填することを承認。
9. クラブ名称変更実行委員長に入沢頼二直前会長を指名。
10. 新会員候補者1名推薦受付を承認。
11. ガバナー要請の「カムリー・バンク」には協力しない。

報告事項

1. 会長報告

①推奨クラブ細則の承認の件

改正されたところは「会員増強・広報・クラブ管理運営・奉仕プロジェクト・R財団」の五委員会を設置する。(RI理事會リーダーシップ・プランの承認により)

②指名委員会の委員5名選任の件

大日方真会員(委員長)、吉田用親会員、西澤正雄会員、入沢頼二会員、小杉修造会員

③2005～2006年度RI会長賞プログラムの件

④バナー要請の2007～2008年度・2008～2009年度ガバナーノミニーは推薦しない。

2. 幹事報告

①田村廣治会員は病氣療養中のため当分の間例会を欠席致します。

②青少年交換派遣学生1名を地区へ推薦。

(鈴木 孟君 麻布高校1年生、2006年7月予定)

③青少年交換来日学生を2006年7月より1年間の受入れ依頼に対して、地区へ受入れの延期を申出る。(経済的理由により)

④風の子会会長丸岡忠朝氏ご逝去の件

告別式7月10日(日) 11～12時、港区立やすらぎ会館へ小杉会長が弔問に参列、クラブより香典(5,000円)

⑤事務所大家さん(木下澄夫氏)へ中元贈呈の件

2005年本物のもの作りの時代へ

ある新聞に面白い記事がありました。タイトルは「累積淘汰」、英国のリチャード・ドーキンスが示した概念です。その記事を以下にご紹介します。

「例えば朝食をとるとしよう。ウェ이터はこう説明してくれます。『朝食バイキングは和洋中、各300ずつご用意いたしております。まず和洋中どれになさいますか?』—まあ洋食にしようか、と全くのおもいつきで僕が言う。そうすると和と中の600種類が全体から落ちてしまう。『パンとライスのどちらに?』—パンにしようか。これもおもいつきだが、これでピラフやヌードル類はすべて落ちる。『パンはロールですか、トーストですか?』—トーストにしよう。『バター、ジャムどちらですか?』—バターだな…。これで和洋中900種類の中から「バタートースト」が、たった四段階で決まることになる。進化もこれと同じだとドーキンスは言うのである。一旦、パンと決めたら、次の淘汰はパンの中だけで起きる、これが「累積淘汰」なのである。」

こういうことが、お菓子の淘汰にも起こっています。昔、大先輩が「尾関さん、お客さんはいずれ和菓子に戻ってくるよ。50才以上になると和菓子に懐かしさを感じてくるに違いないから」という話をしてくれました。そういうものかなと首をかしげたものですが、この「累積淘汰」の概念に重ねてみると、どんな現象にもそれだけの理由があることが明らかになってきます。

幼少の頃から慣れ親しんでいるものならば回帰する可能性もありますが、未経験の場合はどうか。ファーストフードやジャンクフードで育っている現代の若者たちが、いくら年をとったとしても、いきなり和菓子好きになるとは正直なところ考えられません。くり返しとなりますが、この先、各家庭の経済環境も見通しが厳しくなり、年金問題をはじめ、いろんな自己防衛を計っていくとなると、嗜好品に対してたやすく予算を回していただけない状況になる。そんな中へ、本来、生活の潤いを側面からもたらしてくれるはずの和菓子が、果たして入ってゆけるでしょうか。そう考えると、家族のしきたりや文化を伝える絆、親子間の会話さえ危ういのではないかと、家庭の在り方までが案じられます。

こういう淘汰をみせる現象とはいったい何なのでしょう。か。「累積淘汰」は、施された一つ一つの改善がどんな些細なことであっても将来の基盤として累積されていることを示しています。とすると、やはり提供し続ける作り手側が、進化への指針も、かける時間も見過しているように思えてなりません。

消費者は、「本物のお菓子」「専門店の味」が何であるか、「他にはない、飽くなきおいしさ」を、さらに求めていく傾向にあり、がゆえに安価原料では満足できなくなっています。顧客満足度は多様化をみせ、どのようなお菓子が選ばれてゆくかの判断が、作り手に問われることとなるでしょう。

幸いにも当社は先代より、全国の各地で名品を作りあげてきたお菓子屋さん、長年のお取引をさせていただいています。その土地のよい原材料を使って作られたおいしいお菓子が、職人技の勘所によって日々手を尽され、人々に代々喜ばれる銘菓になってゆく様子を数多く拝見してまいりました。本物の味を大切にすることで大量生産という考え方は切り離されてゆきますが、今もって元気に営業をなさっているお菓子屋さんが数多くいらっしゃいます。

弊社ホームページ「OWNER'S SUGGESTION」より抜粋